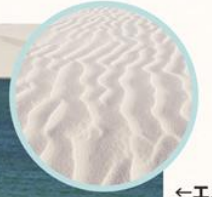
↑強烈な日差しに注意!!

砂丘での日光はとても強烈。おまけに真っ白な砂丘からの照り返りもあるので日焼け止めとサングラスは必須です。筆者は*SPF50*の日焼け止めをラグーンごとに全身に塗り直すという徹底した努力にもかかわらずこんがり焼けてしまいました。日焼け止めやサングラス、帽子はバヘリーニャスの村でも購入が可能です。

←延々と続くこの光景、なんと東京23区2個分の広さ!!

ツアーで私達が踏み込めるのはほんの入り口の一部に過ぎません。真っ白なシーツのような姿から、ポルトガル語でレンソイスと名づけられたようです。



←エメラルドグリーンの色はさんさんと降り注ぐ太陽のおかげ

この一帯の砂浜が白いのは、石英という白い鉱物が多く含まれているため。真っ白な砂が積み上げられ砂丘を形成し、そのホワイトカラーと太陽の光によって、湖の色が鮮やかなエメラルドブルーに見えます。観光シーズン中は雨も降らず毎日快晴なのでキレイなコントラストを堪能できること間違いなしです。

↑午後発のツアーはサンセットツアーのおまけ付き★

バヘリーニャスから出発するレンソイス砂丘ツアーは午前と午後の1日2本。午後のツアーに参加すれば砂丘に沈むサンセットが鑑賞できる特典付き♪ただ砂丘の白さとラグーンの青さは空の青さが不可欠ですので、ひたすら白と青のコントラストを堪能したい!という方はあえて午前中のツアーに参加するのもありだと思います♪砂丘についたら売店はないので水を忘れずにお持ち下さい。勾配のある砂丘は足元を取られやすく体力を使うので小さなお子様がいらっしゃる方はご注意を。水着もホテルから着用です。

【世界遺産】サンルイス

ポルトガルタイルが可愛らしい小さなサンルイスの町。タイル博物館など見所は徒歩約3時間弱で観光可能。旅行代理店で予め半日ツアーに申し込んでおくと安心です。タイルのお土産もかわいくて迷ってしまいます。

いよいよシーズン到来！このたった数ヶ月の奇跡
レンソイスをどう遊ぶ?

Lençóis Maranhenses

General Infomation

◇サンパウロからレンソイス観光のゲートとなるサンルイスまで直行便で約3時間半。更に車両で約4時間かけて砂丘観光の最寄町バヘリーニャスへ移動します。時間がない方はサンルイスからの日帰り砂丘ツアーもあります。日程に合わせてプレギッサス川ボートツアーやサンルイス観光と組み合わせることも可能です。

◇観光シーズンは一般に6月～9月ですが、雨水がたっぷり溜まっている６～８月中旬が特におすすめです。

◇ツアーは混載ツアーおよびプライベートツアーが催行されていますが、現地日本語ガイドはいないため、 現地英語またはポルトガル語ガイドでの手配となります。サンルイスの空港にありますツアーデスクでもツアーの申し込みが可能ですが、時間によってはクローズしている場合もあり ますので、事前に旅行代理店で申し込みをされることをおすすめします。

↑この景色が見られるのは6月～9月の期間限定!

雨季シーズンに降った雨水が砂丘のくぼみにタップリ溜まるのは6月～9月頃。その後徐々に干上がっていくのでご旅行はこの時期に合わせて計画的に!が大事です。ラグーンの水は透明度抜群！まるで遠浅のビーチに来たかのようです。

砂丘だけじゃない!!
ブラジルの自然を満喫するなら

プレギッサス川ボートツアー

地元の漁村の風景や熱帯雨林などブラジルの雄大な自然を感じられるツアーです。

↗ 小レンソイス

アマゾンをほうふつさせる熱帯雨林を眺めつつ小1時間モーターボートで下ると小さな集落に到着。その先に広がる砂丘とラグーンで水遊びを楽しみます。こちらの砂丘は若干イエローなのが特徴です。

→マダガスカル村と灯台

プレギッサス川の河口、大西洋の入り口にある小さなマダガスカル村を散策し、灯台に登り景色を一望します。村の民芸品店などをのぞくのも楽しく、地元の生活を垣間見るのも興味深いです。